

令和6年度 第4回千歳市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 令和6年9月11日（水）14時45分～16時00分

会 場 東雲会館2階 4号室

出席者 品田会長、石田委員、早野委員、佐々木委員、高本委員、吉田委員、長沢委員、横岡委員、藤本委員、浜委員、山北委員、木滑委員、二ツ屋委員、立田委員、斉藤委員、経亀委員、池田委員、中山委員、藤吉委員、橋本委員、杉村委員、笹森委員

欠席委員 小林副会長、今委員、五十嵐委員、藤村委員、池下委員、杉浦委員

事務局 米澤企画部次長 交通政策課 倉重課長、遠藤係長、木津主事

傍聴者 2名（随行者：千歳相互観光バス株式会社本社営業副所長、北海道運輸局）

報道 北海道新聞社

【次第】

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 報告事項
- 4 協議事項
- 5 閉 会

【協議結果】

- ・報告事項（1）～（3）について、承認された。
- ・協議事項（1）について、承認された。

【会議要旨】

報告事項

- （1）自動運転・A I オンデマンド交通の進捗報告
- （2）自動運転に係る市民アンケートの実施
（事務局より資料1、2に基づき説明）

（会長）

報告事項（1）自動運転・A I オンデマンド交通の進捗報告、報告事項（2）自動運転に係る市民アンケートの実施についての報告があったが、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。

（委員）

防災フェスタで行われたアンケートでは、どのような意見があったか。

(事務局)

来場者に対してアンケート行った際に聞き取った印象としては、若い世代の保護者が興味を持っていた様子であった。意見の中には、今回の自動運転について、運転手がない状態で運行すると思っている方もおり、当市で実施する実証実験の内容を説明した。また、お子さんと一緒に乗ってみたいなどの前向きな意見もいただいた。

(委員)

自動運転バスは、予約制であるか。

(事務局)

そのとおりである。協議会の皆さまについては、11月15日に実施する関係者試乗のご案内をさせていただく。案内チラシの裏に時刻表を載せており、1日1便から8便まで4往復の運行を行うため、ご都合の良い便に乗りいただきたい。

また、停留所は5か所設けており、その中から乗降場所を選択していただくこととなる。

(委員)

時間によっては利用者がいないことも想定されるか。

(事務局)

そのようなことも想定される。

(委員)

そのような場合でも運行を行うのか。

(事務局)

あくまで自動運転バスの実証実験が目的であるため、利用者がいない場合についても運行する。実証実験では、運行を行いながら、どの区間で運転手が手動介入に切り替え、ハンドルを握ったか、アクセル、ブレーキを踏んだかなどの操作で得られたデータをもとに分析を行い、どのようなことをすれば自動化することができるのかということについて検証を行う。

(委員)

自動運転の周知・PRについては、どのようなことを考えているのか。

(事務局)

まずは10月の広報誌に自動運転バスとAIオンデマンド交通について、特集を組んで掲載する予定であるほか、10月中に向陽台地区において、自動運転バス及びAIオンデマンド交通の住民説明会を行う予定である。

(委員)

自動運転バスは、時速何キロで走行することが可能か。

(事務局)

性能的には、最大 60km/h で走行することはできるが、自動運転走行時には 50km/h で走行する。

(委員)

自動運転と手動運転の切り替えについては、どのような基準をもとに判断するのか。

(事務局)

実際に運行してみないことにはわからないが、おそらく千歳相互観光バスの本社ターミナル付近はそれほど混雑しないため、自動運転でバスが停車することは可能であると想定される。千歳駅前のバスターミナルについては、他のバスの停車、発信などの動きがあるため、ターミナル内は、運転手がハンドル操作を行い、安全を確保した上で走行することが想定される。

その他の区間についても、先ほどの説明のとおり 11 月上旬のテスト走行の際に、安全性を確認しながら、自動運転への切り替えを検討すると伺っている。

(委員)

今年度の運行についてはレベル 2 での運行となるのか。また、レベル 4 での運行はいつ頃を見込んでいるのか。

(事務局)

今年度についてはレベル 2 での運行である。また、次年度以降の運行では、冬道の走行における実験を行い、課題の抽出を行い、2027 年度に一部区間でもレベル 4 の認可を取得したいと考えている。

(委員)

チラシに掲載している内容で、「定員に空きがある場合のみ予約せずにご利用いただけます」とあるが、利用者はどの時点で予約に空きがあることを確認できるのか。

(事務局)

実際に、自動運転バスがバス停に到着しないことには、空きがあるか確認することができない。

(委員)

このような記載があると、バス停で待っていたが、乗車することができなかったということが想定されるため、利用者への影響を考えると予約のみ乗車可能と案内した方がいい良いと考える。

(事務局)

いただいた意見のケースが想定されるため、この件についてはもう少し検討をさせていただく。

(委員)

最後のページに、AI オンデマンド交通のスケジュールについて、アンケートの実施計画の記載がなかったため、計画があれば伺いたい。

(事務局)

アンケートは取っていきたいと考えているが、現状、事業者とアンケート内容の詳細まで詰めることができていない。対象については、実際の利用者に対してアンケートを実施することを想定している。

(委員)

AI オンデマンド交通の取組の方が、先行する可能性が高いため、早期の実現に向けて課題抽出を行っていただく必要があるためアンケートの実施をお願いする。

(委員)

AI オンデマンド交通における住民説明会の主催は千歳市になるのか。

(事務局)

そのとおりである。当事業を担当していただいているシステムの事業者にも同席いただきシステムの使い方を説明いただく。

(委員)

AI オンデマンド交通の運転手の方は、シルバー人材センターから派遣いただくということになっているが、シルバー人材センターに登録されている方の中で、2種免許を持っている方を派遣いただくのか。

(事務局)

今回の実証実験については、運賃を無料としており、2種免許が必要ないため、1種免許保有者を派遣いただく。

(会長)

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、報告事項(1)「自動運転・A I オンデマンド交通の進捗報告」報告事項(2)「自動運転に係る市民アンケートの実施」については、報告済みとしてよろしいか。

(一同：意義なし。)

(3) 千歳駅前広場再整備事業に伴うバス乗り場の変更

(事務局より資料3に基づき説明)

(会長)

千歳駅前広場再整備事業に伴うバス乗り場の変更についての報告があったが、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。

(委員)

ラピダスや関連企業の方が千歳市に来ることで、人口が増加するという新聞記事を拝見したが、このようなことを踏まえるとバスの利用が増えるのではないかと考える。これに対応するために、将来的に千歳駅前の改修については、多額の資金が必要なことは、重々承知しているが、地下または2階にバスターミナルを作るなどの構想はないのか。

(事務局)

来年度以降、公共交通計画の見直しを行う際には、利用者数や利用ニーズの確認などの現状の把握のほか、人流の動きを確認していきたいと考えている。その中で、提案いただいた内容については、千歳駅高架橋耐震補強工事の経過や財源の確保などの課題があるため、1つの意見として受け止めさせていただく。

(会長)

補足になるが、今回のロータリーの改修については、交通安全の面で乱横断の防止やバス乗り場の効率的な配置を行うものである。当初、この改修を計画した際には、千歳駅前の待合機能も強化したいという狙いがあったが、先ほど事務局からのお話が合ったとおり、千歳駅の高架橋における耐震補強工事について、新幹線延伸の関係で着工時期が令和10年度以降になったところである。その工事が終了しないことには、待合機能の強化等を実施できないこともあり、今回の駅前ロータリーの工事は、1期工事、2期工事の2段階に分けて実施することとしている。今回の1期工事は、ロータリーの改修工事に留め、駅舎に関連するような部分については、JR北海道の高架橋の工事に併せて、再度検討するという状況になっている。

そういった待合機能の強化については、課題として捉えているところもあるため、皆

さまからご意見をいただきながら検討を進めていきたいと考えている。

(委員)

駅は、街の活性化の窓口になるため、千歳駅前のどこかに活性化を目的とした事業を実施することができるスペース残すことを考慮した駅広場の改修を進めていただきたい。

(事務局)

現在の西口の工事については、市民のワークショップでいただいたご意見をもとに、憩いの空間を作ることや千歳らしい広場にすることをコンセプトにしている。今回の改修で、駅前の空間ができるため、小規模イベントを実施する程度の空間は確保できるのではないかと考えている。

(会長)

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、報告事項(3)「千歳駅前広場再整備事業に伴うバス乗り場の変更」については、報告済みとしてよろしいか。

(一同：意義なし。)

協議事項

(1) バス路線の見直し

(事務局より資料4に基づき説明)

(会長)

協議事項(1)バス路線の見直しについての報告があったが、ご意見、ご質問があれば発言願いたい。

(委員)

桜木長都線の利用者が少ないため、運行を継続しないことについては、理解しているが、自由ヶ丘のスーパーが閉店するなど、桜木・自由ヶ丘地区における生活環境が変化しているため、今後も市民の生活環境の変化に併せて定期的に状況の把握や住民の声を反映する機会を残していただきたい。

(事務局)

都度、バス事業者と利用者の声を聞きながら、路線の配置が必要であれば検討を進めていきたいと考えている。

現状は、同地区に桜木線があるため、バス路線が全くなくなるということではないため、今後の動向を伺いたい。

(会長)

他に意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

特になければ、協議事項(1)「バス路線の見直し」については、協議済みとしてよろしいか。

(一同：意義なし。)

(会長)

全体を通して他にご意見、ご質問があれば発言願いたい。(特になし)

円滑な進行にご協力をいただき感謝申し上げます。それでは、事務局に進行をお返しする。

(事務局)

次回の開催については、12月頃に開催を予定しており、詳細については改めてご連絡させていただくがご予定いただくようお願いする。

また、自動運転の試乗会やシンポジウムに関する案内については、改めてご案内させていただきます。

以上をもって、本日の会議を終了する。

以 上